

## 令和2年度事業報告

(令和2年4月1日から令和3年3月31日まで)

令和2年度の我が国の社会経済状況は、国内外において新型コロナウイルス感染症防止対策のため社会活動の混乱と経済活動の停滞を招き、極めて厳しい状況に陥りました。

高齢者の雇用状況については、少子高齢化が進む中で高齢者の雇用と経済社会の活力を維持する労働政策として令和3年4月に「改正高齢者雇用安定法」が施行され、多くの企業が定年延長、継続雇用の実施により企業内雇用が一層進められていくこととなります。

しかしながら、新型コロナウイルス感染症防止対策により県内の雇用環境は悪化しており有効求人倍率は1.0前後で推移し、予断を許さぬ雇用状況になりました。

このような状況においても、当シルバー人材センターは高齢者のニーズに応じた多様な就労の機会を提供しております。

当シルバー人材センターは、従来型の請負事業だけではなく労働者派遣事業（シルバー派遣事業）について積極的に対応し、受注の確保・拡大や就業への勧誘に取り組みました。特に、労働者派遣事業の契約金額は82,066千円となり県内でも昨年に引き続き上位に位置しました。

主な事業の実施結果は、昨年度と比べて、3月末の会員数は385人（男性263人、女性122人）となり5名の増、新型コロナウイルス感染症防止対策の影響のため契約金額は、143,262千円となり、前年度比22,154千円、13.4%の減、就業実人員は277人で27人、9.9%の減となりました。また、受注件数は2,200件で90件、4.0%の減となりました。

就業中の事故については、他のシルバー人材センターに比べて少ない件数ではありますが、依然として発生しており安全な適正就業についての取り組みに課題を残すところとなりました。

令和2年度も白岡市をはじめとする関係行政機関、企業、事業所や個人の皆様からの大きな支えをいただくとともに、会員の皆様の御尽力により、当シルバー人材センター事業の推進と地域社会への貢献が図られたものと認識しております。

以下、令和2年度の具体的な事業内容についてご報告いたします。

## 1 安全就業と適正就業の徹底

安全就業は事業運営の基本であり、作業の安全と無事故を目指しましたが、残念ながら物損事故8件、傷害事故4件が発生しました。

- (1) 安全管理委員会を2回開催するとともに、安全管理委員会委員及び職員による屋外の就業現場への安全就業巡回パトロールを8月から11月にかけて27か所実施し、安全防具の使用及び機具の点検などを確認・指導しました。
- (2) 令和2年度の契約は、適正就業を徹底するために契約内容の点検を実施し、法令を遵守した適正就業を推進し、安心して就業できる環境づくりを図りました。
- (3) 職域班等の講習会等は新型コロナウイルス感染症防止対策のため開催できませんでしたが、全会員に「安全就業ハンドブック」を配付し安全就業を促しました。
- (4) 「事務局だより」やチラシなどで、安全就業の呼びかけを行うとともに、新型コロナウイルス感染症予防を周知しました。

## 2 会員の増強及び就業機会の拡充

- (1) 市の広報紙にセンターの会員募集記事を掲載するとともに、いきいき埼玉が企画した「シルバー人材センター会員拡大キャンペーン」に賛同し、市内の世帯にパンフレットを配布し会員を募りました。
- (2) 入会説明会を毎月2回開催し、センターの概要について説明し、シルバー人材センターへの入会を勧めました。
- (3) 未就業の会員については、「事務局だより」へ就業案内を掲載するとともに、未就業会員への相談会を2月に3回開催し就業機会の提供に努めました。

## 3 独自事業の拡充

- (1) 刃物研ぎを実施し82件、160丁の実績となり昨年の65件、110丁を上回る結果となりました。
- (2) おさらい教室については、小学生英語教室、中学生英語教室、中学生数学教室と共に積極的な宣伝活動を行い72名の児童・生徒を指導しましたが、昨年の90名を下回る結果となりました。
- (3) 「大人の英会話教室」については、2名の方が受講して日常生活で役立つ英語を楽しく学べるような講座としました。

#### 4 組織活動の推進

##### (1) 理事会

理事会を12回開催し、定時総会に付議する重要議案の審議のほか、令和2年度事業の実施状況及び予算の執行状況、入会承認、規程の改正など事業の円滑な運営に努めました。

##### (2) 部会活動

###### ア 総務財政部会

収支予算及び決算の審査並びに事業の企画等、理事会に付議すべき案件の審議を実施しました。

###### イ 広報調査部会

「事務局だより」やチラシの発行及び市広報紙へ会員募集記事の掲載などを実施しました。

###### ウ 事業部会

安全就業について検討を行うとともに、就業機会の拡大について協議しました。

(3) 不定期に発行する「事務局だより」の内容を充実し、地域班を通して配付し、連絡体制の強化と会員相互のコミュニケーションを図るとともにセンター事業の円滑な運営に努めました。

#### 5 研修・講習事業等の実施

(1) 除草の講習会では実際に刈払機を使用して実施し、安全に関する知識の向上を目指しました。

(2) いきいき埼玉主催の「安全就業推進大会」に参加し、安全意識の向上を図りました。

(3) 家事援助指導者養成研修に参加し、よりよく事業に取り組めるよう知識・技術等の習得に努めました。